

有機農産物事業者のための物流効率化セミナー 「島根県の有機農産物物流効率化のための施策」アンケート結果

作成：2021年4月12日

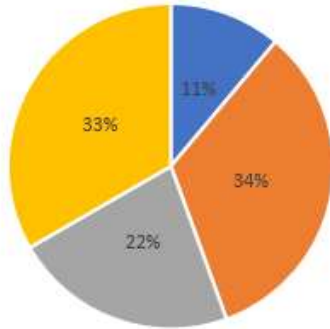
■アンケート概要

セミナー開催日：2021年3月24日（水）13:30-16:00（オンライン）

セミナー参加者数：60名

アンケート回答者数：11名（回答率18.3%）

■セミナー全般に対する感想



■参考になった・勉強になった ■興味深い内容だった
■可能性を感じる内容だった ■更なる展開を期待したい

- ・今後物流改善ができる余地が大いにあると感じた
- ・おおよそ15年前に比べると、今回のセミナーの内容は隔世の感だった。県には更に有機農業者を支援して頂きたい。また島根県の有機農産物が広く流通するよう引き続き後押ししていただきたい
- ・生産者・消費者・物流それぞれの状況を分析した上での物流効率化実験を実施し、コストカットもできたという結果はとても興味深い
- ・出荷物の集配は最大の課題。輸送費が生産者にのしかかり、負担感が大きい。輸送は帰り便が空になるので、そのクリアが問題と考えている
- ・本事例が横展開し、有機農産物物流の課題解決となれば良い

■参加者企業の課題

- ・生産者様とのリレーション
- ・地方での農業が抱える物流の課題が第一の課題
- ・色々ありすぎて書ききれない
- ・商品運送費の削減
- ・流通コストの低減を図る必要がある
- ・個配のお野菜セットお届けが主事業なので、産地のリレーや物流コスト削減が課題になっている
- ・物流コスト削減の取り組みや（ヤマト運輸のベジネコサービス活用など）、不足品目の作付けの相談なども積極的に取り組みたい
- ・物流がネックになっている有機生産地全国1位の島根県に今後力を入れていきたい
- ・出荷や出荷するまでの手間が大きい、時間のロスが大きい
- ・小規模農家なので、営業と販売が課題

■今後希望するセミナー

- ・各県での物流課題
- ・大手企業による大都市近郊での農業分野への投資等
- ・フィジカルインターネット
- ・鉄道網も活用した物流改善
- ・官民で食育を強化するような施策テーマ
- ・有機商材を取扱っている企業での工夫や取組事例
- ・各分野の協業取り組み
- ・有機生産者が集荷拠点を物流会社と組んで行える制度を構築するために、実務者レベルのセミナー
- ・商品に付加価値を付ける方法
- ・ECサイトの特徴を知りたい。
特に、有機・オーガニックに特化したもの

■日本有機農産物協会に期待すること

- ・定期的な情報発信
- ・オンラインセミナーの充実
- ・有機農産物に関する多くのイベントの開催
- ・有機農業の発展の中心的存在になることに期待
- ・オーガニック市場の更なる活性化の為の活動
- ・有機農産物が環境にやさしい栽培方法で生産されているということを消費者にもっと広報して欲しい
- ・環境においても人体に於いても有機農作物は、食べて欲しいし作ってほしいので、全国的に有機農法が広がって欲しい
- ・販路に困ることなく農業をしたい